

NEWS DIGEST 今週の定期船ニュース

一週間のニュースをコンパクトに

企業統合・合併・買収

東京船舶のコンテナ船事業 日本郵船に完全譲渡で両社が合意

日本郵船(NYK)と東京船舶(TSK)の両社は7月29日、TSK運営のアジア域内コンテナ船事業を事業譲渡の方法でNYKに譲渡することについて、同日付けで両社が基本合意書を締結したと発表した。

基本合意書の締結日から6カ月以内をめどにTSKからNYKへの事業譲渡を実行することを目指して、両社間で協議・検討を開始するとしている。

TSKは、NYKグループの中でアジア域内コンテナ航路のリーディング・キャリアとして高い実績を誇っているが、今後はTSKのアジア航路と、NYKが運営する東西・南北の基幹コンテナ航路を合わせた全航路を一体運営することで、航路運営の効率向上をめざすとともに、競争力と多様性のあるサービス・メニューを提供するのが狙いとしている。

なお、現在、TSKが提供し、契約中の輸送サービスは、そのままNYKが引き継ぐとしているが、詳細は、個別に案内する予定。

NYKグループでは、本2010年10月1日付けで郵船航空とNYKロジスティクスというフォワーダー2社が統合することが決まっているが、今回、新たに船社分野でもTSKコンテナ船事業部門をNYKに統合することが確定したことになる。

フォワーダー新サービス

イーストライズが中国向け自社混載 上海と青島へ毎週2便仕立てで

日中間物流を得意とする国際輸送業者・イーストライズトランスポート株式会社(本社:大阪市中央区、梶原 社長)ではこのほど、大阪と神戸発の上海、青島向け自社混載サービスを、それぞれ週2便で開始した。

同社はこれまで、中国から日本向け輸入の自社コンソリを中心としていたため、日本発については

コーロードで対応していたが、先月7月から、上海・青島向けを皮切りに輸出でも自前の混載体制を完備したもの。今後は、東京発も計画しているほか、向け地についても大連、新港や香港への拡大を実現するとしている。

イーストライズは上海、青島それぞれに同社現地法人がすでにあり、日本向け輸入ですでに実績を残しているため、この輸出の受け手としても自社グループ組織が活用できることで、安全・確実な現地配送も約束できるのがセールスポイント。

阪神発の混載スケジュールは、上海・青島とも神戸積みは同じ定曜日となっており、大阪・神戸CFS受け/神戸積み/外地ETAは次のようになっている。

大阪・神戸CFS	神戸出港→	上海	青島
1) 船	船	船	船
2) 船	船	船	船

NYKロジスティクスが8月から 大阪発・釜山向けHDS混載を増便

NYKロジスティクスジャパン(NLJ)は8月から、大阪発・釜山(Busan)CFS向け混載のホット・デリバリー・サービス(HDS)を、従来の週3便から1便増やして週4便に強化する。

利用海上キャリアである大阪~釜山RoRoフェリーのPanStar Cruise Ferryが増便されたことに伴うもの。従来からの船・船・船曜便に大阪船曜便が加わり下記の週4便編成となる。船曜便の開始は大阪船出港のSaustar Dream 510W次航。

NLJの大阪発・釜山向けHDS混載

CFS Cut	大阪ETD	釜山ETA
① 船(0)	船(3)	船(4)
② 船(0)	船(1)	船(2)
③ 船(0)	船(1)	船(2)
④ 船(0)	船(1)	船(2)

なお同フェリー利用による東京CFS受けの釜山向けHDS混載は、従来通り週3便でのサービスとなる。

船社新サービス・改編

Hamburg Suedが10月メドに 北欧州~イスラエル航路を開設へ

Hamburg Suedは7月15日、2010年10月をメドに自社運航による欧州大西洋岸~イスラエル航路

<http://www.japanpress.co.jp/>

このニュース誌面の記事が"毎日"・"無料"で見られます!